

松くい虫に強いクロマツの種苗を供給するために！

ー 抵抗性クロマツ採種園の造成に向けた取り組みー 林業研究所

年々被害が北上してきている松くい虫(マツ材線虫病)被害の拡大を防ぐため、松くい虫に強いクロマツ(抵抗性クロマツ)種苗の供給体制を整備することが重要な課題となっています。

他県では、松くい虫被害地から抵抗性クロマツが選抜・育成されていることから、他県の抵抗性クロマツを導入して本県に採種園を造成するための試験を行っていますので、その内容を紹介します。

背景

抵抗性クロマツ採種園の造成

必要性

供給体制の整備

問題点

穂木に線虫感染の可能性



抵抗性クロマツ保存園(東北育種場)

他 県

抵抗性
クロマツの
穂木を購入

接ぎ木苗の
作成



マツノザイセンチュウ 100µm



青森県

抵抗性クロマツ種苗
供給体制の整備

採種園(イメージ図)



問題点

他県の抵抗性クロマツの穂木には、病原体である「マツノザイセンチュウ」が感染している可能性がある。

穂木にマツノザイセンチュウが感染していないか調べる必要がある

試験の経過

感染調査及び健全苗の育成：H27は、5系統について実施



抵抗性クロマツの穂木



マツノザイセンチュウ DNA分析例

×陽性
(線虫感染)

○陰性
(線虫非感染)

穂木にマツノザイセンチュウが感染していないことをDNA分析により確認



抵抗性クロマツの接ぎ木苗 (線虫非感染)

感染していない接ぎ木苗の増殖



健全な採種園 (イメージ図)

採種園の造成

今後の方向

- ◆平成29年度末までにマツノザイセンチュウに感染していない12系統の抵抗性クロマツの増殖を行う予定です。
- ◆できるだけ早く採種園造成による事業用の抵抗性クロマツ種苗の生産ができるよう取組んでいきます。

お問い合わせ

林業研究所 森林環境部 (TEL017-755-3257)